

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にじおと			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 25日		～	R7年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	R7年 11月 25日		～	R7年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 9日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児は友達とコミュニケーションを取りながら、楽しく様々な活動を行っている。	・少人数でのグループ活動や協同作業を取り入れている。 ・「楽しい」「またやりたい」と感じられるよう、こどもの興味関心を取り入れた活動を行っている。	・職員間での情報共有や研修を通じて支援の質の向上に努め、安心して楽しく通える事務所づくりを継続していく。
2	・長時間開所していることにより保護者の就労やレスパイトのニーズに柔軟に対応できている。	・利用児が無理なく安心して過ごせる支援を行っている。こども一人ひとりの体調や様子を把握し、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。 ・保護者の就労やレスパイトのニーズに配慮し、柔軟な利用時間の調整や丁寧な情報共有を心がけている。	・保護者との連携を強化し、利用時間や支援内容について柔軟に対応できるよう努める。
3	・一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援を行い、それぞれの可能性や得意分野が広がっている。	・個別支援計画に基づき、無理なく参加できるよう言葉かけや支援方法を工夫し、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	・一人ひとりの特性や成長の変化を継続的に把握し、個別支援計画の見直しを定期的に行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士で交流する機会が少ない状況である。	・感染症対策や安全面への配慮から、保護者が集まる行事や交流機会を積極的に設けることができなかった。 ・送迎時間や保護者の就労状況の違いにより、保護者が同じ時間帯に集まることが難しいと考え、交流に関する企画を十分に行えていなかった。	・長期休暇期間を活用し、保護者に来所していただく機会を設けることで、保護者同士の交流を促進していく。
2	・前もって活動を計画しているが、計画した通りに行われていないことがある。	・利用児童の体調や当日の状況により、計画通り実施することが難しいことがあった。 ・突発的な対応が必要な時があり、活動内容の変更や縮小が生じるがあった。	・計画作成時に実施の可能性を十分に検討し、無理のない活動内容を設定する。
3			